

②計画案について（項目別）

第2回協議会資料名	頁	項目	内容	対応案
(1)-③	1	柱1-3	「地域の支え合い体制の整備」は「地域の支え合い体制の整備・充実」ではないか。	反映
(1)-③	1	柱1-3	地域の支え合い体制の整備 となっていますが、資料(1)④では”充実”が追記されています。”充実”が入っていた方がよいと思いました。	反映
(1)-③	1	柱2-4	サービスの質の確保と向上 事業名4と5は括弧の中の適正化の後の「事業」が欠落している。	反映
(1)-③	2	柱3-2	介護予防・重度化予防の推進 事業名2通所型サービスC事業(短期集中予防サービス)の後の【検討中】とはどのような意味なのか？	制度を導入するかどうかについて、検討を行っていくという趣旨です。
(1)-③	2	柱4-1	患者やその家族をとりまく療養環境の整備 事業名「1在宅療養高齢者相談支援窓口」は「～高齢者支援相談窓口」ではないか？(第4期では「相談」という言葉が入っていません)	第5期計画において、「在宅療養高齢者相談支援窓口」と修正しました。
(1)-③	3	柱6	表現の仕方が日本語として違和感を感じる。「安全に、かつ安心して暮らせる」にはいかがなものか？	反映
(1)-④	26	④	地図や文字が少し見づらいように感じます。簡単に修正できるようであれば、地図の周りの文字をもう少し大きくしていただだけでも見やすくなるかと思いました。	反映
(1)-④	27	1301	地域ケア会議から地域課題から…→地域ケア会議や地域課題から ※文の確認をお願いします。	反映
(1)-④	29	2202	そのほか、今年度初の取組みとして、既存団体への専門職の派遣を実施した。→そのほか、既存団体への専門職派遣を再開した。※コロナ前より専門職派遣を実施していました。	反映
(1)-④	31	5102	高齢者向け(フレイル)向けの…※文の確認をお願いします。	反映
(1)-④	31	6204	Zoomを用いた介護予防体操の実施を実施し…※文の確認をお願いします。	反映
(1)-④	33	柱2②	採用が困難 本文1行目最後の文字「市」は不要ではないか？	反映
(1)-④	37	③(ii)	事業者から 本文上から3行目「特に明文化していないものの、看取りを行っている」は(15.3%)ではなく(27.1%)ではないか？もしそうであれば、看取りを行っている事業者は41.3%ではなく、54.8%になるのではないか？	「特に明文化していないものの、看取りを行っている」を27.1%に修正 見取りを行っている事業者を44.8%に修正
(1)-④	38	柱4②	介護をどこで受けたいか 本文2行目「福祉。地域の支援」は「福祉・地域の支援」(細かい箇所ですが…)	反映
(1)-④	41	(2)	介護保険事業の充実と担い手の確保…この小見出しは柱2と同じように「担い手確保」と「事業充実」の順番を入れ替えた方がよい。	反映
(1)-④	42	(4)	在宅療養体制の推進の本文上から2行目最後の言葉「周知啓発」は「周知・啓発」にしてはどうか…拘りません。	反映
(1)-④	43	2(2)	2.基本理念(2)の計画案骨子(案)資料(1)-②4頁と同じ内容になるべきだと思うのですが、文章が異なっています。	反映
(1)-④	44~46		施策の柱の表示が(1)(2)…になっているが、第4期のように四角の囲み柱1で表示した方が分かり易い。	反映
(1)-④	45	(5)	認知症の当事者～仕組みの充実…「支援します」については資料(1)-①の意見の通り。	反映
(1)-④	46	(6)	高齢者が尊厳を～支援の充実…「安全・安心して暮らせる」は文章として違和感がある。「安全に、かつ安心して暮らせる」にしてはどうか。	反映
(1)-④	46	(6)	同じく本文最終行「支援機器等の充実」とはどのような意味か？いわゆる福祉用具などを指しているのであろうか？それにしても「使用」「貸出」「貸与」などの言葉があると分かり易い気がする。	「支援機器等の提供の充実」と表記変更
(1)-④	46	(6)	主な項目(案)の中に、住宅内(住み慣れた家)での安全確保を謳わなくてもよいものか？	「日常生活の支援」の項目内に、救急代理通報事業等が含まれており、別項目としての記載は行わない予定です。
(1)-④	49	1105 (2501)	家族介護者支援…方向性については”もっとも”だと思いが、文章として「何を実施する」かが分かりづらい。「憩いの場としての集いの開催を、地域包括…実施します」、ないしは単純に「実施します」を「開催します」にするとよいかも。	反映
(1)-④	49	1104	重層的な支援体制の整備【担当部署】福祉政策課(健子福祉部、子ども部各課)→健康福祉部	反映
(1)-④	51	1208	在宅高齢者ケアサービス事業補助 2行目「在宅高齢者ケアサービス」事業を助成します。→「在宅高齢者ケアサービス」事業を補助します。※この事業は補助事業です。	反映

第2回協議会資料名	頁	項目	内容	対応案																		
(1)-④	52	1301	<p>生活支援体制整備事業の実施</p> <table border="1" data-bbox="808 108 1440 213"> <thead> <tr> <th colspan="3">第4期(実績)</th> <th colspan="3">第5期(目標値)</th> </tr> <tr> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> <th>R7年度</th> <th>R8年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>-</td> <td>10</td> <td></td> <td>20</td> <td>22</td> <td>24</td> </tr> </tbody> </table> <p>→令和4年度よりこの事業が始まり、10団体立ち上がっています。 ※全体的に第4期(実績値)のR5年度欄に数値が記載されているものとならないものがあります。どちらかに統一した方が良いかと思えます。</p>	第4期(実績)			第5期(目標値)			R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	-	10		20	22	24	R5実績値については、推計値を掲載する予定です。11月の運営協議会で提示する予定のパブリックコメント用案文の中には記載予定です。
第4期(実績)			第5期(目標値)																			
R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度																	
-	10		20	22	24																	
(1)-④	56	2303	第5期(目標値)が、R6年度～R8年度にかけて、1施設78床になっています。第4期の数字が、入っていませんので、1施設78床に根拠が、よくわかりません。日野市として、78床を目標値にされた詳細説明をお願いできればと思います。	介護医療院は、旧介護療養型医療施設から制度移行がされたため、第4期については、実績なしとなっております。目標値としては、現行の施設の床数維持となります。																		
(1)-④	58	2406	第4期は、1回ですが、第5期(目標値)は、すべて10件となっております。1回と10件では、回数も違いますが、単位が異なるので、具体的な実施のやり方が違うと思われる。この違いの詳細について、ご説明をいただければ、ありがたいです。	第4期計画では、連絡会の実施回数を指標として用いておりましたが、第5期計画では、具体的な指導の件数を指標とすることで、実施状況を把握しやすくしたものです。実施方法等には、変更はりません。																		
(1)-④	61	3105	実績値が、R3,R4年度は、3000枚を超えています。R5年度も、3000枚を超えそうでしょうか？目標値の参考にしたいので、教えてください。	R5年度もR4年度と同程度の利用実績となっているため、おそらく、3000枚前後の実績となる見込みです。																		
(1)-④	62	3202	<p>通所型サービスC事業 →生活支援体制整備事業に分類されている事業になるかと思えます。 ・担当部署が空白です ・この事業の検討に至った経緯 ・訪問ではなく、通所を検討するに至った経緯など説明をお願いします</p> <p>生活支援体制整備事業は介護保険事業でありながら、担当部署が高齢福祉課在宅支援係となっております。今は未だに政策に結びつけるようなところまで事業が進展している状況ではないため、大きく影響することはありませんが、今後どのように介護保険課が関わってくださるのか、教えていただければと思います。</p>	制度を導入するかどうかも含めて、調査・検討段階です。第5期計画期間に、方向性を示せるようにまいります。生活支援体制整備事業については、介護保険課とも情報共有、連携してまいります。																		
(1)-④	65	4107	高齢者緊急一時保護(シェルター確保) 最後の行 今後も適正な数の居室の確保をします→今後も適正な数の居室を確保をします	反映																		
(1)-④	73	6102	介護サポーター制度4行目 啓発事業を行 います→啓発事業を行います	反映																		
(1)-④	77	6304	<p>配食サービス 見守りを含め民間事業者のサービスが充実している現状を踏まえ、制度の整理、再設計を行うことについて。 現在1食450円で提供されている配食サービスですが、今後は民間に任せ、なくす方向ということでしょうか？ 制度の整理、再設計とはどのようなことの検討になるのでしょうか。 民間の事業所の弁当の半額で配達、安否確認をしていただいているのはとてもありがたく思っております。 要支援でヘルパーが回数入れない、老々、独居のご家族にとっては昼夕弁当頼みです。2食が民間事業者となるとかなり負担が大きくなり、頼めないという事態も想定されます。 ぜひ、継続していただきたいと思えます。</p>	事業の方向性については、現在検討中ですが、廃止ではなく、位置づけや実施方法の変更を想定しております。民間サービスの状況も調査しながら、見守りの在り方や事業の展開について検討してまいります。																		
(1)-④	79		第1回目の事業一覧で柱6施策項目6災害対策に”個別避難計画の作成”とありますが、資料(1)-④には、反映されていないようですが、今回は、名簿登録、共助の体制づくりまでと考えればよいですか？(他部署との調整もあると思うので、入れてほしい、ということではなく、気になったので記入しました)	個別避難計画については、「6601 災害時及び災害に備えた地域での避難行動要支援者の支援体制づくり」の一部事業として記載予定です。支援者の確保等、課題もあるため、今後、実施方法について、再検討してまいります。																		